

公益社団法人 日本水産学会
平成 27 年度第 1 回理事会議事録

- 1 開催された日時 平成 27 年 3 月 7 日(土) 14 時 35 分～17 時 05 分
- 2 開催された場所 国立大学法人東京海洋大学品川キャンパス
2 号館 200A-2 会議室 (東京都港区港南 4-5-7)
- 3 理事総数及び定足数
総数 17 名、定足数 9 名
- 4 出席理事数 17 名
(本人出席) 吾妻行雄、荒井克俊、荒井修亮、飯田貴次、香川浩彦、金子豊二、
木島明博、嵯峨直恆、青海忠久、関 伸吾、東海 正、時村宗春、
松山倫也、山下 洋、渡邊良朗、渡部終五
(途中出席) 古谷 研(第 7 回理事会以降の職務執行の状況報告開始時の 16 時 15 分に着席)
(監事出席) 青木一郎、瀬川 進
(幹事出席) 遠藤英明、田代有里、石田真巳、鈴木美和、塩出大輔、久田 孝
(オブザーバー) 伊藤文成(理事候補者)、大越和加(理事候補者)、佐竹幹雄(理事候補者)
- 5 議 案
決議事項 第 1 号議案 「平成 27 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項等」の
件
第 2 号議案 「ベルソーボックスの覚書」の件
第 3 号議案 「平成 27 年度企画広報委員会委員の追加」の件
第 4 号議案 「平成 27 年度水産利用懇話会委員会委員の交代」の件
第 5 号議案 「平成 27 年度水産増殖懇話会委員会委員の交代」の件
第 6 号議案 「平成 27 年度水産教育推進委員会委員の交代及び追加」の件
第 7 号議案 「平成 27 年度水産政策委員会委員の交代及び辞退」の件
第 8 号議案 「平成 27 年度水産学若手の会(特別委員会)委員の追加」の件
第 9 号議案 「平成 28 年度春季大会」の件
第 10 号議案 「入会承認」の件

報告事項 第 7 回理事会以降の職務執行の状況
その他

6 議事の経過及びその結果

(1) 定足数の確認等

渡部会長が定足数の充足を確認し、続いて本会議の議事進行について説明があった。

(2) 議案の審議状況及び議決結果等

定款の規定に基づき、渡部会長が議長となり、本会議の成立を宣言し、議案の審議に移った。

(決議事項)

第 1 号議案 「平成 27 年度定時社員総会の日時及び場所ならびに目的である事項等」の件(別紙
1)

平成 27 年度公益社団法人日本水産学会社員総会資料の次第について、東海総務担当理事より説明があり、一部修正の上、出席理事全員一致でこれを可決した。

続いて、東海総務担当理事より 6. 議事・第 1 号議案のうち、「平成 26 年度事業報告」の内容の説明があった。また、渡邊財務担当理事より 6. 議事・第 1 号議案のうち、「貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録」について、平成 26 年度決算書類(貸借対照表、正味財産増減計算

書及び財産目録)にもとづいて説明があった。審議の結果、一部修正の上、出席理事全員一致でこれを可決した。

6. 議事・第2号議案「平成27年度役員(理事)選任の件」および6. 議事・第3号議案「名誉会員推薦の件」については、資料にもとづき東海総務担当理事より説明があり、出席理事全員一致で可決した。

本議案について以下の質疑応答があった。

青木監事「収入に対して赤字決算であったが、平成26年度予算に対してはいかがであったか。」

渡邊理事「平成26年度予算に対しては赤字であった。」

東海理事「大会会場となる大学によって会場使用料が高く設定しているところがあるため、賃借料が大きい額になった。」

金子理事「大会会場の賃借料が大きい、地方開催の場合は寄附収入を多く得ているので赤字の大きな原因ではない。」

第2号議案「ベルソープックスの覚書」の件

金子総務担当理事より、日本水産学会と成山堂書店との間で交わされる「ベルソープックス」シリーズの覚書の原案について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で原案通り可決した。

第3号議案「平成27年度企画広報委員会委員の追加」の件

東海総務担当理事より、企画広報委員会委員の追加について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 柳本 卓

第4号議案「平成27年度水産利用懇話会委員会委員の交代」の件

東海総務担当理事より、水産利用懇話会委員会委員の交代について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 青木仁史

[辞退] 瓜生 登

第5号議案「平成27年度水産増殖懇話会委員会委員の交代」の件

東海総務担当理事より、水産増殖懇話会委員会委員の交代について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 清水智仁

[辞退] 藤井徹生

[選出] 野田幹雄

[辞退] 須田有輔

[選出] 寺田竜太

[辞退] 工藤真弘

第6号議案「平成27年度水産教育推進委員会委員の交代及び追加」の件

東海総務担当理事より、水産教育推進委員会委員の交代及び追加について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 武田重信

[辞退] 天野雅男

[選出] 須田有輔

[辞退] 吉川廣幸

[選出] 天野勝文

[辞退] 金井欣也

[選出] 神保 充

[辞退] 武田誠一

[選出] 荒川久幸

[選出] 上田勝彦

第7号議案「平成27年度水産政策委員会委員の交代及び辞退」の件

東海総務担当理事より、水産政策委員会委員の交代及び辞退について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 牧野光琢

[辞退] 河村知彦

[辞退] 森田貴己

第8号議案「平成27年度水産学若手の会(特別委員会)委員の追加」の件

東海総務担当理事より、水産学若手の会(特別委員会)委員の追加について説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

[選出] 阿部博和、高梨愛梨

第9号議案「平成28年度春季大会」の件

時村関東支部担当理事より、平成28年度春季大会についての説明があった。審議の結果、出席理事全員一致で次の通り可決した。

日程 平成28年3月26日(土)～3月30日(水)

場所 東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区)

大会委員長 (独)水産総合研究センター中央水産研究所所長(4月1日に確定)

第10号議案「入会承認」の件

審議の結果、出席理事全員一致で原案どおり可決した。

(報告事項)

第7回理事会以降の職務執行の状況

・庶務関係

東海担当理事より次の報告があった。

1) 平成26年度資格喪失者について

本報告について以下の質疑応答があった。

金子理事「滞納金は水産学会の未収入金であるが、資格喪失となるとそれは水産学会の財産から削られることになるのか。」

東海理事「本来は債権放棄の手続きを行う必要がある。これまでには行っていない。以前には Fisheries Science 誌に掲載された論文の著者負担金を支払っていただけていない事例もあり、債権放棄の手続きを行わなければならない。所監事からもこの点については指摘を受けている。」

渡部会長「債権放棄は、いつ行う予定か。」

東海理事「監事と相談して行いたい。」

渡邊理事「本日の会計監査においても所監事より指摘を受けており、このままでいると未収入金がだんだん増えていくので、来年度の課題として何とかするように言われている。」

瀬川監事「本日の監査において、未収入金のうち正会員会費247万円が未収だったことから、会費を前納していただけるような努力が必要である。」

青木監事「おそらく1年間の会費未納の催促がなく、そのままにしておいて2年目に資格喪失通知があつて納入しているかもしれないので、しっかり会費を徴収するやり方を考えたほうがよい。」

古谷理事「他学会では学会発表申し込み時に、会費未納の会員は発表を受け付けないことにしたら改善された。」

東海理事「1年間滞納している時点で本人に知らせている。大会参加申込受付時の会費納入状況の確認は、大会参加申込を大会実行委員会に任せているので行っていない。会員か否かの確認は行っている。会費の納入状況を確認することは可能かもしれないので検討したい。大会ホームページの作成業者に未納者リストを渡してチェックプログラムを組み込むということになると考える。あと、会費前納制であることを頻繁には知らせていないので、学会ホームページ上で周知する等の未収入金対策を事務局で検討する。」

渡部会長「銀行口座からの引き落としは行っていないのか。」

東海理事「銀行口座からの引き落としも可能である。また、外国人会員向けに VISA カ

ードによる会費の引き落としも行っているが、学会が手数料を支払うことになるので、できれば銀行振り込みにしていただきたい。」

瀬川監事「公費だと前納できない場合がある。」

東海理事「そのような場合には、少し待つことがあっても仕方がない考える。」

渡部会長「資格喪失者は大会に来ないので未収入金を回収できないのではないか。」

東海理事「日水誌や Fisheries Science 誌に投稿する際に、共著者に資格喪失者がいる場合は投稿を受けていないので、そのときに未納付の会費を納入して退会者に切り替える場合があり、その際に未収入金を回収できている。」

2) 協賛の件(共催、協賛、後援の取り扱い申し合わせ 3)を適用)

協賛: 第 29 回日本キチン・キトサン学会大会
主催 日本キチン・キトサン学会
共催 日本化学会、日本生物工学会
協賛 キトサン工業会 他 15 学会
日程 平成 27 年 8 月 20 日(木)・21 日(金)
場所 東海大学熊本キャンパス(熊本県熊本市)
希望 協賛
負担金 なし

3) 除名者、資格喪失者(会費未納)の会費納入による退会者への変更が 2 名あった。

4) 短時間勤務有期雇用職員について

a) 事務局の業務補助のために、平成 26 年度に雇用した職員を引き続き週 3 日 5 時間雇用する。

b) 平成 27 年 3 月末退職予定の短時間勤務有期雇用職員の後任が決まった。

5) 名簿作成については、会員自身がインターネット上の Web にアクセスして編集できるソフトとして国立情報学研究所のフリーソフトの利用の可能性を、海洋大の横田賢史先生に協力いただいて検討している。

・企画広報関係

金子担当理事 特になし

・財務関係

渡邊担当理事 特になし

・編集関係

古谷担当理事より、編集委員会の構成メンバーが平成 27 年度の構成に変わったことの報告があった。

・学会賞関係

荒井(克)担当理事 特になし

・シンポジウム関係

松山担当理事より、平成 27 年度秋季大会では当初企画していたシンポジウム 2 件のうち 1 件が取り下げになったため 1 件になったことの報告と、ミニシンポジウムは現在 1 件しか企画がないため企画応募の依頼があった。

・出版関係

木島担当理事より、平成 27 年 1 月 7 日(水)に開催された平成 26 年度第 2 回出版委員会について、次の報告があった。

1) 水産学シリーズは、平成 27 年 3 月下旬に「八丈科魚類の水産研究最前線」、平成 27 年 9 月に「魚類の生活史研究」、平成 28 年 3 月に「魚介類内性プロテアーゼ」が刊行予定である。

2) ベルソープックス担当として、山本民次委員が承認された。

3) 水産学用語辞典の改訂については、デジタル版水産学用語辞典編集委員会委員長から、出版委員会を中心に委員を依頼したいということが確認された。

- ・水産技術誌監修関係
時村担当理事より、第7巻2号は平成27年3月20日頃刊行、各機関への配付は4月初旬の予定であることが報告された。
- ・ベルソーブックス関係
松山担当理事 特になし
- ・国際交流関係
青海担当理事 特になし
- ・水産教育関係
荒井(克)担当理事より、委員構成が少し変わったとの報告があった。
- ・水産政策関係
山下担当理事より、平成27年3月31日(火)午前にミニシンポジウム「調査捕鯨と国際司法裁判所(ICJ)判決」、午後に水産物エコラベルに関する勉強会を開催予定であるとの報告があった。
- ・漁業・資源管理関係
渡邊担当理事より、平成27年3月27日(金)午前に委員会、午後に講演会「沿岸域における漁船漁業ビジネスモデル研究」の開催を予定しているとの報告があった。
- ・水産利用関係
渡部担当理事より、委員の交代が1名あったこと、平成27年4月か5月に新年度の委員会が開催予定であるとの報告があった。
- ・水産増殖関係
木島担当理事より、委員の交代があったこと、平成27年3月27日(金)に委員会開催予定であるとの報告があった。
- ・水圏環境関係
山下担当理事より、次の報告があった。
 - 1) 平成26年春季大会において開催されたシンポジウム「地震・津波から3年後の東北地方太平洋沿岸域の現状 天災による自然攪乱と修復による人為的攪乱」の内容が月刊海洋から特集号として2分冊で出版された。
 - 2) 平成27年2月7日(土)に沿岸環境関連学会連絡協議会ジョイント・シンポジウム「沿岸環境科学と社会の接点をめぐって - 海洋保護区の展開・漁村の震災復興」を開催し、参加者53名であった。
 - 3) 平成27年3月27日(金)にシンポジウム「炭素・窒素同位体比でひも解く水産生物をとりまく環境の複雑さ」を開催予定である。
- ・社会連携関係
嵯峨担当理事 特になし
- ・将来計画関係
古谷担当理事より、創立85周年記念事業に関しては、これまでの報告のとおり準備活動を進めているとの報告があった。
- ・男女共同参画関係
金子担当理事より、平成27年度春季大会の際に配付する男女共同参画実態調査アンケートの要約と配布用クリアファイルについての説明があった。また、男女共同参画実態調査アンケート報告書はweb上で公開するとの報告があった。
- ・北海道支部
嵯峨担当理事 特になし
- ・東北支部
吾妻担当理事より、平成27年度秋季大会の準備状況について、次の報告があった。
 - 1) 宮城県への後援登録の了承が得られた。

2) 日水誌 5月号会告内容が検討され、口頭発表は PDF ファイルの利用に統一することとなった。

・関東支部

時村担当理事より、次の報告があった。

1) 平成 27 年度春季大会準備状況

- a) 講演プログラムの編成が終了し、大会ホームページにアップロードした。
- b) 座長選出が終了し、依頼状を発送した。
- c) 講演要旨集の 4 枚組写真を「江戸前の海の幸」として確定した。
- d) 部門別発表件数を集計した。講演総数 850 件(口頭発表 613 件、ポスター発表 237 件)、高校生による研究発表申し込み数 53 件。

2) 平成 28 年度春季大会については、会場となる東京海洋大学の関係施設を、平成 28 年 3 月 26 日(土)～31 日(木)の間、仮予約した。4 月の人事異動後、水産総合研究センター中央水産研究所の新所長を大会委員長とし、大会事務局を設置して活動を開始する予定である。

3) 都県の水産研究機関の研究ニーズに対応したシンポジウム等の開催については、平成 27 年度 10 月頃を目処に「キンメダイ」をテーマにして開催する予定である。開催の可否及び内容等について、内部的にはキンメダイ WG で決定し、正式には平成 27 年度の支部幹事会(6、7 月頃)で確定する予定である。

4) 水産学若手の会(特別委員会)への支援

- a) 平成 27 年度春季大会における水産学若手の会(特別委員会)主催イベント「展示参加企業によるプレゼンテーション」は若手の会が展示企業 15 社に呼びかけたところ、現時点で、6 社から参加希望、2 社から参加辞退の回答があった。
- b) 平成 27 年度春季大会期間中における「ナイトポスターセッション(1 drink 付)」の開催については、学会公式行事ではなく、若手の会主催の懇親会の中で実施することとなった。
- c) 平成 27 年度春季大会ミニシンポジウムの講演者招聘旅費支援に関して、シンポジウム告知ポスターには、後援として日本水産学会国際交流委員会と日本水産学会関東支部を記載することとした。

・中部支部

飯田担当理事より、支部長交代の報告があった。

・近畿支部

荒井(修)担当理事 特になし

・中国・四国支部

関担当理事 特になし

・九州支部

香川担当理事 特になし

・英文書籍監修委員会(特別委員会)

東海担当理事より、最初の企画について原稿が集まったのでシュプリンガーと相談して査読者を決めて進めていくとの報告があった。

・東日本大震災災害復興支援検討委員会(特別委員会)

渡部会長より、本日の理事会前に開催された委員会において、平成 27 年度秋季大会前に行う理事会主催シンポジウムの内容を検討したとの報告があった。次いで、木島理事より、プログラム概要について説明があり、次回理事会においてまとめた内容を報告する予定であるとの報告があった。これに関連して、渡部会長から水産総合研究センター東日本大震災復興支援活動のパンフレットの紹介があった。

・水産学若手の会(特別委員会)

渡部会長 関東支部報告 4)と同じ

・日本水産学会 85 周年記念事業委員会(特別委員会)

渡部会長より、次回委員会は平成 27 年 3 月 27 日(金)を予定しており、そのときに予算の大枠を
考え、次回理事会で報告したいとの報告があった。

- ・水産・海洋科学研究連絡協議会関係
東海担当理事 特になし

その他

- ・委任状の回収について

東海総務担当理事より、平成 27 年度社員総会の総会資料は 3 月 12 日(木)もしくは 13 日(金)
に発送を予定しており、3 月 16 日(月)には会員の手元に届く予定であること、及び同封した委任
状の提出期限は 3 月 24 日であることの説明があった。また、各理事に対し、事務局より委任状回
収数の報告をメールで随時連絡するので、委任状回収率向上への協力依頼があった。

- ・次回理事会の開催について

東海総務担当理事より、次回第 2 回理事会は平成 27 年 3 月 27 日(金)15 時から、国立大学法
人東京海洋大学品川キャンパスで開催する予定である旨確認があった。

- ・学会賞受賞者講演の座長について

東海総務担当理事より、平成 26 年 3 月 29 日(日)・30 日(月)に行なわれる学会賞受賞講演の
座長の確認があった。

以上をもって議案の審議等を終了したので、17 時 05 分、議長は閉会を宣言し、解散した。

以上、この議事録が正確であることを証するため、出席した議長(代表理事)及び監事は記名押印す
る。

平成 27 年 3 月 7 日
公益社団法人 日本水産学会

議長 会長(代表理事)

監 事

監 事